

問1 1931年、中国東北部（満州）を走る南満州鉄道の線路が爆破される事件が発生しました。日本の関東軍がこの事件を中国軍の仕業であると主張して軍事行動を開始し、満州事変へと発展したこの出来事を何とといいますか。（2025年 鳥根公立入試 類似）

1. 柳条湖事件                      2. 盧溝橋事件                      3. 上海事変                      4. 西安事件

問2 1933年に日本が国際連盟を脱退する直接のきっかけとなった、国際連盟側の対応とそれに対する日本の反応について述べたものとして正しいものはどれですか。（2023年 香川公立入試 類似）

1. リットン調査団の報告に基づき、満州国を認めず日本軍の撤兵を求める勧告案が可決されたことに反発した。  
2. 国際連合の総会において、日本の満州進出が平和を乱す行為であると断定されたため、抗議として離脱した。  
3. ワシントン会議で決定された海軍の軍縮条約の内容に不満を持ち、国際的な枠組みからの脱退を宣言した。  
4. 満州事変の正当性が国際的に認められたものの、日本独自の外交方針を確立するために連盟を脱退した。

問3 ワシントン会議で結ばれた海軍軍縮条約では、主力艦の保有比率について、主要な参加国の間でどのように定められましたか。（2026年 鳥取公立入試 類似）

1. アメリカとイギリスの保有量を同じとし、日本の保有比率をその約6割に抑えることとした  
2. アメリカ、イギリス、日本の3か国の主力艦を、すべて同じ割合で無制限に保有することとした  
3. 第一次世界大戦で大きな損害を受けた日本に対し、アメリカよりも多くの主力艦の保有を認めた  
4. 補助艦の保有量のみを制限し、海軍主力艦については各国の自由な判断に委ねることとした

問4 第二次世界大戦中、ドイツのナチ党（ナチス）による迫害から逃れようとしたユダヤ人に対し、リトアニアの領事代理として「命のビザ」と呼ばれる査証（ビザ）を発給し、多くの人命を救った日本人は誰ですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 杉原千畝                      2. 新渡戸稲造                      3. 陸奥宗光                      4. 小村寿太郎

問5 1940年に、それまでの既存の政党が相次いで解散し、戦争を支えるための強力な組織である大政翼賛会が結成されました。このような体制が作られた背景にある、当時の政治的な目的として最も適切なものはどれですか。（2017年 岡山公立入試 類似）

1. 挙国一致の体制を整えることで、国民を強力に統制し戦争遂行に協力させること  
2. 国民の声を直接政治に反映させるため、複数の政党による政党政治を活性化させること  
3. 国際社会からの孤立を防ぐため、国際連盟への復帰に向けた外交力を強化すること  
4. 戦時下の混乱を避けるため、天皇が自ら直接すべての政務を執り行う体制を整えること

問6 1939年にドイツがこの国へ軍事侵攻を行ったことが直接のきっかけとなり、第二次世界大戦が勃発しました。この時、ドイツによる侵攻を受けた国はどこですか。（2023年 長崎公立入試 類似）

1. ポーランド                      2. オランダ                      3. スペイン                      4. スイス

問7 1936年に発生した、陸軍の青年将校らが政府高官を殺害し東京の中心部を占拠した二・二六事件について、その後の日本の政治に与えた影響として最も適切な説明を選びなさい。（2021年 鳥根公立入試 類似）

1. 反乱自体は鎮圧されたが、これ以降、軍部が政治に対する発言力を急速に強める結果となった。  
2. 海軍将校が首相を暗殺したことで政党政治が終わり、軍部主導の政治が始まった。  
3. 軍部によるクーデターが成功したため、議会在野が直ちに廃止され、軍事独裁体制が確立した。  
4. 国民の強い批判を受けたことで軍部の政治介入が抑えられ、民主主義的な政治が一時的に回復した。

問8 1938年に「国家総動員法」が制定された背景と目的について述べた文として、正しいものはどれですか。（2025年 栃木公立入試 類似）

1. 日中戦争の長期化に備え、議会の同意なしに人的・物的資源を軍事目的に集中させる戦時体制を整えるため。  
2. 第一次世界大戦の景気過熱によるインフレーションを抑え、国民生活の安定を図るため。  
3. 満州事変の開始を受け、国際連盟からの脱退を支持する世論を形成し、国際的孤立を乗り越えるため。  
4. 世界恐慌による深刻な不況を打開するため、公共事業を増やして失業者を救済し、経済を活性化させるため。

問9 1937年に北京郊外で発生した盧溝橋事件をきっかけとして始まった、日本と中国との間の全面的な戦争の名称として正しいものを選びなさい。（2017年 愛媛公立入試 類似）

1. 日中戦争                      2. 日露戦争                      3. 太平洋戦争                      4. 朝鮮戦争

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>柳条湖事件</b>	1931年に発生した柳条湖事件は、日本の関東軍が自ら南満州鉄道の線路を爆破し、それを中国側の攻撃に見せかけた「自作自演」の事件です。これをきっかけに日本軍は中国東北部への軍事侵攻を開始し、満州事変と呼ばれる一連の紛争が始まりました。1937年に北京郊外で起きた盧溝橋事件（日中戦争のきっかけ）と混同しないよう注意が必要です。
問2	<b>答え 1</b> <b>リットン調査団の報告に基づき、満州国を認めず日本軍の撤兵を求める勧告案が可決されたことに反発した。</b>	満州事変の調査のために国際連盟から派遣されたリットン調査団は、日本の軍事行動を自衛とは認めず、満州国を承認しない報告書を提出しました。これを受けた連盟総会で、日本の主張が退けられ日本軍の撤兵を求める勧告案が可決されたため、日本はこれに強く反発して国際連盟からの脱退を表明しました。
問3	<b>答え 1</b> <b>アメリカとイギリスの保有量を同じとし、日本の保有比率をその約6割に抑えることとした</b>	当時の主要な海軍国であったアメリカ・イギリス・日本の保有比率は「5 : 5 : 3」と定められました。これにより、日本は米英に次ぐ地位を認められつつも、主力艦の規模が制限されることとなり、国際的な軍備抑制の枠組みに組み込まれました。
問4	<b>答え 1</b> <b>杉原千畝</b>	ヒトラー率いるナチスは人種差別的な政策を掲げ、ユダヤ人に対して激しい迫害を行いました。リトアニアのカウナスに赴任していた杉原千畝は、日本政府の意向に反してでも人道的見地からビザの発給を続け、約6000人もの命を救ったとされています。
問5	<b>答え 1</b> <b>挙国一致の体制を整えることで、国民を強かに統制し戦争遂行に協力させること</b>	1937年に日中戦争が始まると、日本政府は長期化する戦争に備えるために国内の管理を強める必要がありました。1940年、近衛文麿を中心に「新体制運動」が進められ、立憲民政党や立憲政友会などの既存の政党は自ら解散して大政翼賛会に合流しました。これにより、議会による政府批判を封じ、国民一人ひとり組織化して戦争に協力させる「挙国一致」の体制が確立されました。
問6	<b>答え 1</b> <b>ポーランド</b>	1939年9月1日、アドルフ・ヒトラー率いるドイツ軍が隣国であるポーランドに侵攻しました。これに対し、ポーランドと相互援助条約を結んでいたイギリスとフランスがドイツに宣戦布告したことで、第二次世界大戦が始まりました。侵攻の背景には、ドイツによる領土拡大の野心や、ソ連（当時）と密かに結んだ独ソ不可侵条約によるポーランド分割の合意がありました。
問7	<b>答え 1</b> <b>反乱自体は鎮圧されたが、これ以降、軍部が政治に対する発言力を急速に強める結果となった。</b>	二・二六事件は陸軍の青年将校らが引き起こしたクーデター未遂事件です。反乱軍は「国賊」として鎮圧されましたが、軍部はこの混乱を逆手に取り、自分たちの要求を通さなければ再びこうした事件が起きかねないという姿勢で政府を脅かしました。その結果、軍部大臣現役武官制の復活などが行われ、軍部が内閣の存続を左右するほどの影響力を持つ「軍部台頭」の時代へと進みました。なお、海軍将校が犬養毅首相を殺害したのは1932年の五・一五事件です。
問8	<b>答え 1</b> <b>日中戦争の長期化に備え、議会の同意なしに人的・物的資源を軍事目的に集中させる戦時体制を整えるため。</b>	1937年の日中戦争勃発当初、日本政府は早期解決を想定していましたが、戦争は長期化の様相を呈しました。これに対応するため、政府は国家の全力を戦争遂行に傾ける「総力戦」の構えをとる必要に迫られました。国家総動員法は、国民の労働力を軍需工場へ送り込む「国民徴用令」などの根拠法となり、経済・社会のあらゆる側面を政府の強い統制下に置くことを目的としていました。
問9	<b>答え 1</b> <b>日中戦争</b>	1937年7月、北京郊外の盧溝橋で日本軍と中国軍が衝突した「盧溝橋事件」が契機となりました。日本側は不拡大方針を掲げつつも増援を送り、結果として戦火は中国北部の華北から上海、さらには当時の首都であった南京へと拡大し、長期にわたる全面的な戦争へと発展しました。